

目次

- 1面 合同研修会(特別支援教育)
- 2面 合同研修会(子どもの安心安全)
- 3面 広報委員会活動報告
広報紙コンクール案内
年次表彰
日P 三行詩コンクール入賞
- 4面 小・中学生総合補償制度

新潟県 P T A

No.106

発行 新潟県小中学校PTA連合会
編集 広報委員会
〒950-0965
新潟市中央区新光町7番地2
新潟県商工会館5階
Mail ngknpata@coral.ocn.ne.jp
ホームページもぜひご覧ください!
新潟県PTA連合会

当委員会は、昨年11月17日、上越リージョンプラザにて、特別支援教育についての研修会を開催しました。講師として、県教育委員会義務教育課 特別支援教育推進室長 大竹嘉則様と、指導主事 足田敦士様のお二人から、実演を交えてご講演いただきました。

「特別支援教育」という言葉や、特別な支援を必要とする子どもたちへの理解はより身近なものとなりましたが、では実際に適切な支援をと言われると、私を含めて多くの人は、なかなか具体策が思い浮かばないのではないのでしょうか。

今回の講演は、私たち周囲の大人たちのそういった疑問に対して、第一歩とな



実演とパネルで分かりやすいご講演

り得る基礎的な対応方法について、お二人の実演によるやり取りやパネルを使用した進行で学びました。聞くだけではなく、実際の場面設定でのやり取りを見ることによって、参加者の皆様には楽しみながら理解を深めていただけたものと思います。

「日ごろ誰にでもありがちな間違いや失敗をはじめ、その子がつい思わず」とっってしまう気になる行動に対して、その直後には、どのような言葉かけが望ましいのか。そのためには、支援される側のマイナスの心情に寄り添って共感する気持ちが必要であること、実現可能なスモールステップの行動目標を積み重ねることがコツとのことでした。ごく当たり前のことのようにですが、これらは特別支援に限らず、どの子どもたちにも必要なことだということに改めて知ることができました。

講演後は、参加者の身近にも体験例などが多くあつて、次々と活発に質疑応答が行われ、時間が足りないのが残念でした。「特別な

り得る基礎的な対応方法について、お二人の実演によるやり取りやパネルを使用した進行で学びました。聞くだけではなく、実際の場面設定でのやり取りを見ることによって、参加者の皆様には楽しみながら理解を深めていただけたものと思います。

「日ごろ誰にでもありがちな間違いや失敗をはじめ、その子がつい思わず」とっってしまう気になる行動に対して、その直後には、どのような言葉かけが望ましいのか。そのためには、支援される側のマイナスの心情に寄り添って共感する気持ちが必要であること、実現可能なスモールステップの行動目標を積み重ねることがコツとのことでした。ごく当たり前のことのようにですが、これらは特別支援に限らず、どの子どもたちにも必要なことだということに改めて知ることができました。

県P連 教育問題委員会・組織検討委員会 合同研修会
& 「深めよう絆」にいがた県民会議 県民講座
第1部 講演 (教育問題委員会担当)

「気になる子どもの理解と支援」

講師 新潟県教育委員会 義務教育課 特別支援教育推進室 室長 大竹 嘉則様
指導主事 足田 敦士様

第1部 講演概要 「気になる子どもの理解と支援」

県教育委員会 義務教育課 特別支援教育推進室 室長 大竹 嘉則
指導主事 足田 敦士

◎支援を求めている子どもの心情に思いをさせ、子どもの前向きな姿を引き出す支援とは？

気になる行動

- 例1 つい、思わず不注意な行動をとってしまった。(ついしゃべる など)
- 例2 つい、思わず衝動的な行動をとってしまった。(つい物をとる など)
- 例3 つい、思わずこだわる行動をとってしまった。(鍵を何度も確認 など)

子どもの心情 **しまった! まだだ!(精神状態は下降)**
止めたいのに(止めたかったのに)止められない(止められなかった)。

- ◎ 起きたことが重大であるほど、マイナス状態は深く、長引く。
- ◎ 同じことが繰り返されるほど、マイナス感情の回復が遅く、改善策や予防策も見つかりにくくなっていく。
- ◎ 他にも違う不注意(衝動的・こだわり)行動が並行して起きたり、連続して起きたりしてしまうと、不注意(衝動的・こだわり)に対して諦めてしまい、自己嫌悪や自信喪失に向かう。
→ 悪循環を招きやすい。他の不適応行動につながりやすい。

支援が適切でない **どうしていいかわからない。自分はだめなんだ!**
指摘されたら、反抗する、無反応になる、その場から遠ざかるなどの行動をとらないと自分の身を守れなくなってしまう。(固まる、減らず口 など)

〈望ましい支援〉

◎ 気になる行動直後に、マイナスの心情に共感した言葉かけで目標に向かえるように。「そうか〜なんだね。」「〜したいと思っているんだね。」

原則1 行動目標は、スモールステップで立てる。

少し気をつければできるレベルを積み重ねる。最初から完全を求めない。スモールステップの目標になっているか、時には周りの大人に話して確認する。できなかったときは、また「共感」から再スタートする。

原則2 行動改善には、心のエネルギーがたくさん必要。

その子の「よいところ」を日頃から大いに評価し、自己肯定感を高める。

原則3 できたら必ず称賛する。

「すごいね」→ 具体的に、どこを努力しているかわかるように称賛する。大人になると、アクションは小さくなる。現実社会の称賛に合わせていく。「〜してくれてありがとう」「ごめんなさい、できなかった」が言えると、支援者との人間関係がよくなり、子どもを守ることになる。「あいさつ」と「返事」ができることが、就労先で子どもを守ることになる。

原則4 支援者自身の頑張りへの評価やご褒美も十分に!

共感する・目標を考える・称賛する支援者には、多くの心のエネルギーが必要。

支援」というのは、実は特定の人のみが必要なことでなく、子どもたちに関わる人全てに理解が必要なことでした。

多様化・複雑化する現代の子どもたちを取り巻く環境や問題の中で、特別支援教育は決して独立したものではなく、様々な教育やそ

こに付随する、切り離すことのできないものとして、さらに皆様のご理解とご協力をいただけますよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。

日P 全国研究大会新潟大会が終わり、一息つく間もなくこの研修会の準備が始まりましたが、会場の手配等現地対応をお願いした上越市P連の皆様、合同研修会としてご協力をいただいた組織検討委員会の皆様、そして教育問題委員の皆様には多岐に渡りフォローをしていただき、心より感謝を申し上げます。

1年間ありがとうございました。
(教育問題委員長 澁谷将人)



活発な質疑応答



特別支援関連本の紹介



トッキキも参加

坂爪様は、社会貢献活動として子ども向け防犯出前授業「あんしん教室」を、新潟市内の小中学校を中心に行っていきます。講演では、その出前授業がどんなものなのかを紹介しつつ、過去のデータや具体的な事例、自身の体験なども交えて説

きました。坂爪様は、社会貢献活動として子ども向け防犯出前授業「あんしん教室」を、新潟市内の小中学校を中心に行っていきます。講演では、その出前授業がどんなものなのかを紹介しつつ、過去のデータや具体的な事例、自身の体験なども交えて説



防犯グッズの紹介

明していただきました。子どもに対する防犯教育のポイントには、まず子どもの成長に応じて場面ごとに教えることだそう。そして、子どもが自ら体験し自ら気づくということ。一方的に教えるのではなく、子どもが自ら訓練し体験して気づくことで初めて防犯教育の効果が発揮されるからです。

その他にも、研修会場の入り口で防犯グッズの展示を行い、使い方の実演もあって、参加者の皆さんも積極的に体験していました。核家族で共働きが当たり前になって久しい現在、子どもを見守り、安全に育てていくのが難しくなっています。組織検討委員会ではこの研修で学んだことを紹介し、さらに各地域に持ち帰って、防犯意識の啓発に努めていきたいと思えます。

(組織検討委員長 磯員洋介)



講師 坂爪武史様

近年、社会的弱者である子どもが犯罪に巻き込まれるケースが後を絶ちません。当県でも、昨年5月に痛ましい事件がありました。

では、我々大人は子どもを守るために何をすべきか。坂爪様は地域コミュニティが大切だと強調されました。地域コミュニティが強い場所には犯罪者が入りにくく、見えないバリアになるそうです。実際に、泥棒を対象に行ったアンケート結果もそれを示しているとか。見守り隊など

犯の視点を示していただき、私も深く考えさせられました。また、参加者からも、「子どもが下校した後の対策や、地域の危険個所の見直しも必要だとわかった。」「自身の防犯意識の低さに気づかされた。学校とも連携し、家庭のルールづくりから始めたいと思った。」などの感想が寄せられ、防犯対策への関心が高まったことがうかがえます。

県P連教育問題委員会・組織検討委員会 合同研修会
 &「深めよう絆にいがた県民会議」県民講座
 第2部 講演 (組織検討委員会担当)
 「どうやって子どもたちを事件や事故から守るか」
 講師 ALSOK新潟総合警備保障株式会社 坂爪 武史様

の防犯ボランティアだけでなく、地域内で挨拶を交わし合うだけで犯罪抑止になるそうです。講演が具体的にわかりやすい内容であることに加え、経験に裏打ちされた防

第2部 講演概要

「どうやって子どもたちを事件や事故から守るか」

ALSOK新潟総合警備保障株式会社 坂爪 武史

1 防犯教育の基本的考え

- 1 子どもの成長に応じて場面ごとに教える
- 2 子ども自らが体験し、自ら気づくことが大切
- △ 子どもを守るには、「あれも、これも教えなきゃ！」
- × 言葉を知っている = 理解している
- × 理解している = 実践できる・現場で対応できる

2 具体例 1 安心して登下校 5つのやくそく

「いかのおすし」

- 1 **い**かない！ しらないひとには、ついて…
▶知らない人ってどんな人？
- 2 **の**らない！ こえをかけられても、くるまには…
▶大人と子どもの手の長さの違いを認識させる。大人でも手の届かない距離をとる。どれくらい離れる？
- 3 **お**おごえをだす！ しらないひとに、つれていかれそうになったら…
▶すぐには声は出ない。あいさつや返事で、普段から大きな声を出す練習をしておく。
- 4 **す**ぐにげる！ しらないひとに、こえをかけられたり、おいかげられたら…
▶ランドセルを背負ったまま？
- 5 **し**らせる！ こわいことにあったり、みたりしたらすぐにおとなに…
▶低学年は犯罪に遭っていることが分からないこともある。ささいなことでも話をする人間関係を築いておく。

3 具体例 2 安心してお留守番

「いいゆだな」

- ① **え**の鍵を見せない！ 子どもが一人で留守番することを知られないように。鍵は、家に着くまでしまっておく。
- ② **え**の周りをよく見る！ 不審車両や不審者が家の周りにもいるかもしれない。「目の力」を鍛え、普段と違うことに敏感になる。
- ③ **ゆ**うびんポストをチェック！ 郵便物が溜まっていると留守宅だと思われる。情報を悪用されるかも。郵便物を持って家に入る。
- ④ **だ**れもいなくても、ただいま！ 「ただいま」と言うと、不審者は家に誰がいると思う。
- ⑤ **な**かに入ってすぐ戸締まり！ 鍵が開いていると不審者が侵入するかも。

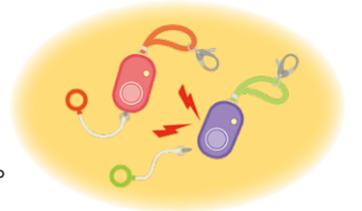
4 防犯教育のポイント

- 1 家庭でルールを作る。
例：知らない人の定義と声をかけられた時の対応
留守番時に電話がかかってきた時の対応
帰宅時間(門限)を決め、親も子も厳守する
- 2 友達と一緒に行動する大切さを教える。
- 3 通学路や公園では、周りの大人にきちんとあいさつすることを教える。
- 4 中学生には、本気になって襲ってくる大人の怖さを教える。
→ 戦わずに、まず逃げるのが大切
- 5 防犯教育は反復継続する。



5 さらに具体策として

- 防犯ブザーは、「通学用」と「家庭用」の複数個を用意。
鳴るかどうかの定期点検が必要。
- 街に潜む危険な場所を親子で確認する。(安全マップ作成)
危険な所は、一人で歩かない、防犯ブザーを手に持って歩く。
- 持ち物に名前を書くとときは、他人から見えない場所に。
- 事前に訓練が必要なことは、必ず実施する。(防犯ブザーの鳴らし方、逃げ方、自宅の鍵の開け方等)



6 見守りパトロールのポイント

- ◎ 犯罪が発生しやすい場所を重点にパトロール
入りやすい場所
(柵がない、遠くてすぐに助けられない等)
見えにくい場所
(壁や樹木で隠されている、監視カメラがない等)
- ◎ パトロール時の注意事項
重点箇所をランダムで回る。
(歩き流すより、その場で少し留まる。)
子どもの登下校時間や「ながらパトロール」でよい。
(無理しない。継続することが大切。)
人通りが多くても注意。
(人通りが途切れる時も。人が多いと周りの人への関心が薄れる。)



広報委員会活動報告

広報委員長 山口 裕子

今年度は、8月24日・25日に第66回日本PTA全国研究大会新潟大会が開催されたことにより、広報紙の紙面が例年とは違う構成となりました。

第105号は、全国大会の報告に紙面の多くを割きました。また、大会役員、全体会・分科会の報告を、掲載し、さらに分りやすくするための写真の掲載となると、限られたスペースでどうしたらよいかと悩みました。

三行詩コンクール入賞作品は少しでも大きく目立つような配色など、各記事のバランスに気をつけました。第106号は、11月17日に開催された教育問題委員会・組織検討委員会合同研修会と深めよう絆にいがた県民会議「県民講座の内容を、当日ご参加いただけなかった方にも分りやすいように掲載しました。最後に、原稿依頼にご快諾いただきました皆様、広報委員会の皆様に感謝を申し上げます。活動報告とさせていただきます。

第17回新潟県PTA 広報紙コンクールのご案内

県P連では、PTA広報活動の活性化を目的に広報紙コンクールを開催いたします。ぜひ、ご応募ください！

●応募方法・応募締切

平成30年4月から平成31年3月までに発行されたPTA広報紙の全ての号をセットにして2部、県P連事務局に送付してください。

応募締切 平成31年4月4日(木)必着

●審査方法・基準

1次審査・2次審査で、最優秀賞・優秀賞・奨励賞・佳作の各賞を決定します。

日本PTA広報紙コンクールの審査基準を参考に、PTA広報紙のもつ目的・使命・記事・編集・レイアウト・見出し文などを総合的に審査します。

※詳しくは、1月下旬に各都市P連事務局を通じて各単位PTAに配信された実施要項をご覧ください。

祝 平成30年度 年次表彰



とき：平成30年11月21日(水)
ところ：東京都千代田区 ホテルニューオータニ

毎年PTA活動で優れた業績を有する団体や個人が、新潟県教育委員会や新潟県小中学校PTA連合会から推薦され、表彰されています。

今年度は日本PTA創立70周年にあたり、皇太子同妃両殿下のご臨席を賜りました。また、PTA活動振興功労者表彰、日本PTA会長表彰特別表彰も表彰されました。

さらに、日本PTA全国研究大会新潟大会開催の功労に対して、日本PTAから全国大会感謝状が贈られました。

右の皆様が表彰されました。本当におめでとうございます。



文部科学大臣表彰

団体	PTA活動振興功労者
上越市立高田西小学校 PTA	堀川 義徳 (前新潟県P連 会長)
弥彦村立弥彦中学校 PTA	平石 祥吉 (新潟県P連 会長)

公益社団法人 日本PTA全国協議会 会長表彰

団体	個人
長岡市立阪之上小学校 PTA	佐藤 陽志 (胎内市立中条小学校 PTA)
新潟県立柏崎翔洋中等教育学校 PTA	加藤 康太郎 (前新潟県P連 監事)
	金澤 壽一 (日P新潟大会実行委員会 事務局長)
	植木 和明 (南魚沼市立六日町中学校 PTA)

特別表彰

安達 有希 (長岡市立越路中学校 PTA)	本間 哉 (見附市PTA連合会 事務局)
杉原 秀彦 (上越市立大潟町中学校 PTA)	山崎 高美 (柏崎市小中学校PTA連合会 事務局)
村田 靖 (長岡市立栖吉小学校 PTA)	高橋 高志 (佐渡市小中学校PTA連合会 事務局)
長谷川 和明 (長岡市立東中学校 PTA)	阿部 共博 (南魚沼市小中学校PTA連絡協議会 事務局)
市村 亮介 (長岡市立阪之上小学校 PTA)	宮川 佳代子 (新発田市小・中学校PTA連合会 事務局)
古川 美也子 (上越市小中学校PTA連絡協議会 事務局)	三本 道昭 (燕市立燕南小学校 PTA)
平澤 靖 (燕・弥彦PTA連絡協議会 事務局)	出崎 ユカリ (佐渡市立相川小学校 PTA)
堀内 正藏 (長岡市出雲崎町小中学校PTA連合会 事務局)	

公益社団法人 日本PTA全国協議会 全国大会感謝状

堀川 義徳 (前新潟県P連 会長)	平石 祥吉 (新潟県P連 会長)
-------------------	------------------

(敬称略、新潟県小中学校PTA連合会関係者のみ)

編集後記

今号は、11月に上越で開催した合同研修会が主な内容で、1面に特別支援教育、2面に子どもたちを守る防犯について、それぞれ当日の様子や概要付きで掲載しました。研修会に参加できなかった皆様にとっても、今号を手にとったことで得るものが多い広報紙になればと思います。ご多忙の中、作成にご協力いただきました皆様から感謝申し上げます。
(広報委員 中山陽介)

新潟県介護の魅力発信事業
講義や体験を通して、
介護の仕事を学んでみませんか？

出前講座

現役の介護福祉士が、介護の仕事や介護職の魅力等について、直接学校へかがい、出前講座を開催します。また、PTA行事等でも御活用いただけますので、ぜひ、お申込みください。

- 対象：**県内の小・中・高校生及び保護者、先生
- 日時：**通年 (御希望の日程と調整させていただきます)
- 費用：**無料
- 申込先：**公益社団法人 新潟県介護福祉士会 (TEL) 025-281-5531 (Mail) kaigo@sage.ocn.ne.jp



平成30年度「楽しい子育て全国キャンペーン」
～家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～

三行詩コンクール入賞おめでとう!

小学生の部 文部科学大臣賞

南蒲原郡田上町立羽生田小学校 4年 **小日向 優さん**

応募総数 139,979作品
(小学生 77,863作品)
(中学生 49,927作品)
(一般 12,189作品)



毎年日本PTAでは、子育てや家庭教育を支える地域の環境が変化中、改めて家族の会話やコミュニケーションから育まれるきずなや家庭のルール、「早寝早起き朝ごはん」といった子どもたちの基本的な生活習慣づくりなど、家庭教育の大切さや命の大切さについて、家族やみんなで話したり取り組んだりする機会にしたいと、「三行詩コンクール」を行っています。

今年度も昨年に続いて、新潟県の小日向優さんの作品が、小学生の部上位4作品に選ばれ、「ファミリーカレンダー」となりました。おめでとうございます！



新潟県小中学校 PTA 連合会・新潟市小中学校 PTA 連合会 推薦

平成31年度小・中学生総合補償制度ご加入のおすすめ

(団体総合生活保険)

特長 1

お子様が加害者に!?

示談代行付き
個人賠償責任補償で安心!

支払限度額は最高1億円
(P5・M5プラン)



お子様ご本人だけでなく、
家族やペットが起こした
賠償事故も補償

特長 2

お子様がケガ

学校内・放課後・通学途中・プライベートを問わず
24時間補償で安心!

熱中症、
細菌性食中毒も
補償!



「もしも」が起こった時に
大切なお子様を
24時間いつでもどこでも
お守りする
「備え」のご案内です

特長 3

幅広い補償

インフルエンザも
対象



病気で入院した場合の医療補償
(P5・M5プラン)



お子様の扶養者に
万が一のことが
あった場合の
育英費用補償
(P5・M5・Hプラン)

特長 4

1万人以上の加入で団体割引等の
適用により **約51%割安**
年間掛金3,000円~加入できます

保険金お支払い実績

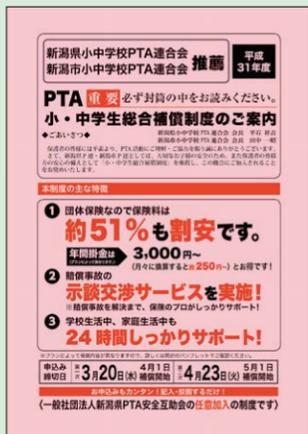
ケガをした! ケガをさせた! 入院した!
お子様の行動が活発になるほど
不慮の事故も懸念されます。

〈平成29年度お支払い実績〉

加入者	13,490名	事故受付件数	989件
(内訳)	傷害事故	888件	
	賠償事故	58件	
	医療・育英・携行品	42件	
	死亡	1件	計989件

簡単! ご加入手続きは記入・投函するだけ!

1月以降に学校から配布される**ピンク色の封筒**
をご確認ください。
加入依頼書を記入し返信用封筒にてご返送くだ
さい。



各種補償制度の概要

傷害補償は他の制度の給付に関係
なく保険金をお支払いします。
(一部特約を除く)

	日本スポーツ 振興センター 災害共済 給付制度	小中学生 総合補償 制度	PTA活動 補償制度
補償される活動範囲	授業中 登下校中	24時間	PTA活動中
保険の対象	児童・生徒	児童・生徒 個人賠償責任補償は 同居の家族も	児童・生徒 保護者、先生、 趣旨に賛同する会員
加入の方法	学校一括加入	個人(任意加入)	単位PTA一括加入
休み時間中、グラウンドで転んで骨折した。	○	○	×
登下校中に車にはねられ骨折した。	○	○	×
体育の授業中、手首を骨折した。	○	○	×
PTA主催のお祭りでケガをした。	×	○	○
PTA主催のラジオ体操でケガをした。	×	○	○
放課後、サッカーをしていてケガをした。	×	○	×
休日に自転車運転中、転倒して左足を骨折した。	×	○	×
自転車で他人にぶつかり、ケガをさせた。	×	○	×
自転車で塾に向かう途中で駐車中の車に ぶつかり車を傷つけた。	×	○	×
放課後に野球をしていて近所の窓ガラスを割った。	×	○	×
O-157に感染し入院した。	×	○	×
地震でケガをした。	×	○ (P5・M5・Hプランのみ)	×
疾病により入院した。	×	○ (P5・M5プランのみ)	×
携行品の損害	×	○ (P5・M5プランのみ)	×

このチラシは団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」
をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。

制度に関する
お問い合わせ先

一般社団法人 新潟県PTA安全互助会事務局
〒950-0965
新潟市中央区新光町7-2 新潟県商工会館5F
TEL 025-280-0456
(受付時間/月曜~金曜 9:00 ~ 17:00)

【幹事代理店】 有限会社 新潟コーリン
〒950-0965
新潟市中央区新光町7-2 新潟県商工会館5F
TEL 025-280-0361
(受付時間/月曜~金曜 9:00 ~ 17:00)

【幹事保険会社】 東京海上日動火災保険株式会社
【非幹事保険会社】 共栄火災海上保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
AIG損害保険株式会社